

# 地震による災害対応

## 地震発生時



- まず我が身を守る  
頭を守り、テーブルや机の下などに身を伏せる。



- 家族の安全を確保  
声をかけ合い、安全を確認。

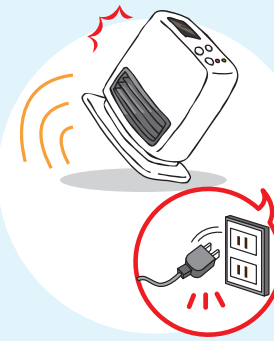
## 揺れが収まってからの行動



- 火の始末  
ガスコンロ等の火を使用しているときは火を消し、ガスの元栓を閉める。  
火災発生時は、備え付けの消火器で初期消火を行う。  
自分で対処できない時は、119番通報や近隣に知らせ、避難を優先する。

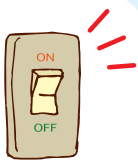


- 落下物や足元に注意  
余震による落下物や散乱したガラスの破片などに注意し、ヘルメットをかぶり、家の中を歩く際は、靴やスリッパをはく。



- 暖房器具を消す  
ストーブなどが倒れていないか確認する。  
火災発生の恐れがあるためコンセントを抜く。

## 避難行動



- 電気(ブレーカー)を切る  
漏電や電気復旧時の火災を防ぐため、ブレーカーを切る。



- 非常持出品を持つ  
ラジオや携帯電話、備蓄食料等最低限の物をリュックなどに入れて持ち出す。



- 安全を確保しながら避難  
事前にハザードマップにより避難場所や危険区域を確認し、安全な経路を選択し、第1次避難場所等の安全な場所に避難、長期の避難生活が見込まれる場合は第2次避難所に避難する。

- 隣近所で助け合う  
隣近所で声をかけ合いながら、お年寄り等の避難誘導、地区ごとに安否確認を行いながら避難する。